

会 議 報 告 書

開催年月日	2009年8月2日(日) 12:00~15:00
会議の名称	第7回 予防接種委員会
開催場所	ホテル新大阪 東口ステーションビル 401号
出席者(敬称略)	永井崇雄、岡藤隆夫、田原卓浩、寺田喜平、横田俊一郎、藤岡雅司
会 計	支出 37,980円(会議室使用料 28,980円+昼食代 9,000円)
報告事項	
1	日本外来小児科学会役員会からの連絡事項(藤岡) 平成21年度予算 150,000円(会議費5万円、調査費10万円)。 改めて、資料作成費、コピー費、郵送費等、できる限り請求することを確認した。
2	DTaP/DT追加接種臨床試験の進行状況について(永井) 8月で終了予定。解析とまとめは来年の予防接種班会議で報告。ワクチン学会で報告、論文。 疼痛、熱感について、DPT 0.5ml接種群で出現頻度が高い傾向。
3	新リサーチテーマについて 研究参加の案内を発送した。「MRワクチンの発熱率はそれほど高くない？」(岡藤先生)について、調査票の検討を行った。
4	予防接種に関する検討会、小児科学会などにおける最近の動向(宮崎先生の資料を元に) ①新日本脳炎ワクチンの1期追加接種の治験。化血研ワクチンは来シーズン導入は無理。 ②予防接種に関する検討会: 中断中。 ③ワクチン産業ビジョン推進委員会: 中断中。MMRVの動向についてはACIP報告を参照。 ④日本小児科学会予防接種・感染対策委員会: 新型インフルエンザ、HPVワクチン、PCV7など懸案はあるが動きなし。 ⑤ヒブワクチン: 第一三共の資料参照。需要供給状況の公開をメーカーに求めることも考慮。 ⑥新型インフルエンザワクチン: ワクチン株の増殖が悪く生産量は少ない模様。輸入は無理。 ⑦DPT-IPV: 開発は難航。VAPPは2008年に4例。 ⑧治験情報: ロタウイルスワクチン、PCV13は進行中。メルク社MMRは凍結中。 ⑨予防接種被害認定審査: MR1期の2週間以後の分は紛れ込み。MR2期は副反応少ない。 ⑩米国ACIP: 神谷元先生のレポート参照。新型インフルエンザワクチンについての勧告。 ⑪予防接種ガイドライン、予防接種と子どもの健康: 日本脳炎に関する変更。横田俊一郎先生が委員に加わった。
協議事項	
1	組織培養日本脳炎ワクチン1期追加、2期接種臨床試験: 予防接種委員会として協力する。
2	麻しん風しん全数把握の調査: 確定診断、検査診断体制の実態調査に変更してはどうか。
3	新型Flu(Swine H1N1)ワクチン: 特になし。
4	第20回年次集会(田原会長、福岡): コメディカル向けのWSや企画を希望。岡藤先生が企画予定。
5	厚労省班会議、ワクチン学会、臨床ウイルス学会: ぜひ参加し、演題も発表すること。
6	今後のリサーチテーマ ①「水痘・おたふくかぜワクチン同時接種の効果・副反応」(藤岡): 早急に進めていくこと。 ②アジュバントワクチンの筋肉内投与: 添付文書で規定されていない投与方法なので、厚労省研究班でないと無理。 ③成人百日咳の実態調査: 診断方法が確定していないので実施できない。 ④小児に対するA型肝炎ワクチンの臨床試験: メーカー側が中断している。
7	次回開催日等について 次回開催日は来年1月頃を予定。メーリングリストで検討する。